

小児摂食症患者の心電図解析から得られる心拍変動と心筋障害の評価

1.研究の対象

2020年1月～2025年2月まで摂食障害で入院した児

2.研究目的・方法

小児摂食症は近年低年齢発症が指摘されています。低栄養状態による体への影響は大きく命にもかかわることがあります。低栄養になると代謝の低下、自律神経機能にも影響を来します。脳の容積の低下、低身長、骨粗鬆症なども認め、この病気が治った後も一度低栄養で影響を受けた臓器がどこまで回復するのかわからないことも多いです。

心臓、循環器の合併症には徐脈、低血圧、心膜液の貯留も認めら、再栄養により多くの場合回復に至ります。しかし、不整脈から心停止を生じ、死に至ることもあり、心臓にどのようなことが起こっているのかまだ解明できていないことが多いです。

そこで、摂食症に罹患している小児の心電図から得られた情報をもとに、低体重に対する心筋の障害、自律神経の乱れなどを評価することを目的とする

3.研究に用いる試料・情報（通常の摂食症の管理で行う範囲の情報、資料）

情報：年齢 性別 体重(BMI-SDS) 血圧測定時心拍数 血圧 健康時体重(BMI-SDS)

資料：血液検査 12誘導心電図 ホルター心電図 超音波検査 基礎代謝

4.解析担当者

心拍変動解析、CWT解析

順天堂大学医学部附属浦安病院 小児科教授 高橋健

5. 情報の保存

研究対象者の個人情報個人情報を特定できないように加工、保管します。また、保管される既存試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。

本研究は他機関の研究者に既存試料・情報を提供いたしますが、個人の識別ができないよう措置を行います。

6. 情報の保護

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

7.研究資金源及び利益相反

本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

8.問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先 国立病院機構三重病院
三重県大里窪田町 357
059-232-22531

研究責任者 鈴木由紀